口腔環境の悪化は万病のもと

「ぴんぴんころり」ができる人は 1%

ほとんどの人は「ねんねんころり」

健康寿命と寿命の間隔をせばめるためには、食べるための口の機能を低下させてはダメ。 □腔機能(のどの筋力)は40歳から落ちると言われています↓

誤嚥性肺炎は 65歳以上の方、要注意!

- □の中をきれいにして細菌を減らす□の中はお尻より汚いんですよ↓
- のどを鍛えて飲み込む力をUP
- ・免疫力を落とさない

- できるかどうかが生死の分かれ目
- ゴホンと吐き出す力を鍛えよう

飲み込みのメカニズム _

胃ろうの 人も大切し

食べる前からの準備

目で見て、耳で聞いて、鼻でかいで → 消化管が準備する → 食欲アップ □唇に食べ物があたる → 舌が送り → 喉頭蓋がしまる (固いもの・柔らかいもの・大きさ)

「飲み込み(嚥下)」は 全身を使っての協調運動です!

「呼吸」コントロール

飲み込み直前-息止めている(口は閉じている) →直後→嚥下→直後→息を吐く

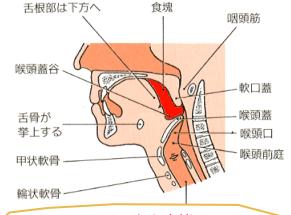
「呼吸リズムの繰り返し」

例:ビールをぐっと飲んだ直後に「ハーッ」と息 を吐く。呼吸を担っているのは口・咽ばかりで なく肺を取り囲む胸筋・背筋・腹筋も。

「ひっこみ入った」は喉頭蓋の衰え

喉頭蓋は舌とくっついている→舌の運動で鍛えられる 「軟□蓋」が衰える→鼻咽腔が閉鎖されず →鼻から牛乳♪お米♪

食事の時だけ鼻水が出る人は注意!



トレーニング 喉を意識して 朝昼タ20回ずつ言ってみよう

カッカッカ パタカラ

